



平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神と呼ばれる。(聖書より)

巻頭言「コンパッションとは？」

コロナの影響も少なくなり、海外との繋がりがより深くなった23年度。

23年11月にパプアニューギニア・マウントハーゲンでのアジア・太平洋地区 NCM 実務者会議に出席した際、現地で農村医療に従事されているナザレン教会所属の外科医の先生の言葉が今でも忘れられません。それは

「(パプアニューギニアでの重篤となる)感染症に対する対策等は病院でできますが、それをレクチャー・指導するのは病院であっても、その後はそれを守り伝え広げるのは人の業です。

この業をビジネスにするのか
コンパッション(慈愛・思いやり)
とするかは私たちの選択だと思
います。私は後者であるべきと
考えます」

という言葉。



NPO 法人 NCM ジャパン代表 篠澤俊一郎

病気を治したい！その想いは万国共通。

これは逆を言えば、病気を治す技術・薬は【お金】になる。医者であっても人の子。病気を治したい！という人の欲はお金に代わる。まさにこれを利用しビジネスにすれば金儲けにできるわけです。

でも、それは病気の根本的な解決には絶対にならない。そう外科医の先生はおっしゃっていました。

必要なのは「Compassion コンパッション」

【COM】とは「共に、全体に」という意味。

【PASSION】とは、「情熱」という意味。

「情熱を共にする⇒思いやり・慈愛」という意味に。

NCMは「ナザレン・コンパッションネット・ミニストリー」の略称。

この名前には恥じない働きを今後も進めていきたい。

是非とも共にお祈りください。

今号の内容

- ・島活シン・フェーズへ
- ・おむすび食堂
個人・企業・企画が充実
～PNG 訪問記～
- ・コンパッション・デイ
会員募集

●利尻プロジェクト ～シン・フェーズへ～

その巻:<真冬の利尻島へ> 【文教大学:辻捷馬】

今回の島活プロジェクトは冬にフェリーで利尻島に向かい、現地の子ども達と交流する事が大きな目的です。そして今回は冬場に島活プロジェクトとして行えるのかの実践します。フェリーを利用したルートの開拓を主とし、前年度以上にトラブルや非常時日程などの計画を立てながら企画しています。今回の冬訪問は初めての取り組みであり、平均気温-4℃や大積雪、フェリー欠航などの環境問題に大きく左右される本プロジェクトではありますが、現地の方々と綿密に計画し様々なトラブルに対応できる準備などを行っています。これを基に次年度以降のプロジェクト成功に寄与していきたいと考えています。

その巻<利尻町立博物館と京都花園教会水族館を繋ぐ> 【立命館大学:山内理菜】

これからの島活プロジェクトではその土地と知識を生かして、生物多様性を利尻・京都双方の子ども達に学んでもらいたいという思いから、その第一歩として京都花園教会水族館と利尻町立博物館の友好関係作りから始めるべく、利尻町立博物館⇒花園教会水族館へ貴重なニホンザリガニ標本貸出の仲介をさせて頂きました！



半年にわたって
ZOOM 会議などを通して
計画が練られています。

貴重な利尻島のニホンザリガニ。
利尻島は生物多様性の宝庫。

今回ニホンザリガニの標本貸出について利尻町立博物館とのやり取りした中で、ひしひしと感じた事は「自分の行動の持つ影響力」についてです。今回標本を借り受けた目的は、特定外来生物:ウチダザリガニと絶滅危惧種:ニホンザリガニの比較展示を行うため。そのため私の仲介が成功するか否かによって、これからの利尻プロジェクトに影響してしまいます。このことに大変プレッシャーを感じると同時に、この仲介がこのプロジェクトをより良くする一歩になるのだという誇りを持つ事ができました。学生のうちに、このような責任のある役割を担うことができ、とても良い経験になりました。

～おむすび食堂～ プレから本格始動



NCM ジャパンはこれまで貧困家庭や母子世帯を中心に毎週、物資支援を進めてきました。

その中で見えてきた課題が、
援助を受ける世帯の子どもは、中学生までは給食等の食事提供を行政から貰えるが、高校生になると難しくなり、食事を支給されてきた子どもは、料理を覚える機会がほとんどないため、結果コンビニ弁当等の購入で食事するようになり家計を圧迫し、貧困状態からの脱却をより難しくしている現状です。

そのため NCM ジャパンは21年12月より、そのような子どもを対象とした料理教室：食術支援を準備・進めてきました。

食術支援は、自炊するための調理法・しかも簡単に短時間で行く。これを中高生のうちに術(すべ)として学ぶ事に特化しています。これまで100回以上の食術支援で中高生の料理技術は飛躍的に向上し、今では冷蔵庫にあるもので美味しく調理する術が身についています。そんな技術を披露できる場所として『おむすび食堂』プロジェクトが23年4月始動しました！

従来の子ども食堂とは違い、『おむすび食堂』では食術支援で術を学んでいる中高生たちが食事を提供し、同じような境遇に合う子ども達にしっかり料理を学ぶ機会・きっかけ作りの場、そして地域交流・まちづくりの一環としての機能も果たすのがこの『おむすび食堂』となります。企業からの参画もあり支援の輪は確実に広がっています。

産経新聞/テレビ大阪にてこの様子が報道されました。新聞記事は下記の QR コードよりご覧頂けます。



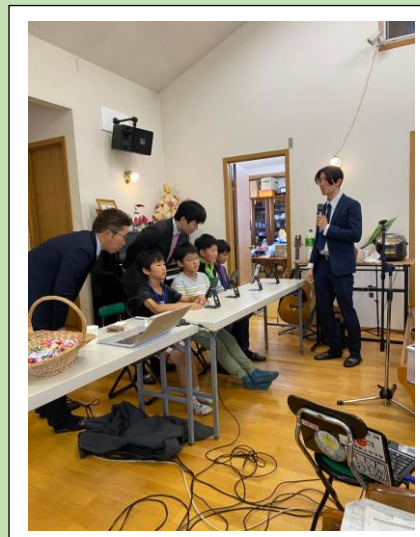
食術支援は小学生～大学生が集います。



魚好きの中学生のプレゼン



北海道・利尻島とオンラインを使った交流



スマホアプリ開発をゲームで楽しくプレゼン
(提供：日新電機工作株式会社様)



日本折り紙協会の京都支部で責任を持っておられた講師：藤並先生をお迎えしての折り紙教室。
この事を通して、北海道の利尻島の子ども達やパプアニューギニアの子ども達に折り紙の楽しさを広く伝えました



～パプアニューギニア(PNG)訪問記～

アジア・太平洋地区 NCM 実務者会議が PNG・マウントハーゲンにて行われ、篠澤俊一郎代表理事が日本代表として出席。8 か国の NCM 実務者による報告と共にパプアニューギニアでの山岳地帯医療の現場視察等を1週間に渡ってフィールドワークを行いました。マウントハーゲンは標高2000メートル以上に位置し、コーヒーや紅茶の産地として知られています。ただ、貧困率が高く、犯罪等も多い場所で外務省は「不要不急の渡航の中止」を勧告している地域でもあります。そのような場所で医療を基本とした草の根活動を70年以上展開しているナザレン NCM・教会の活動を視察しました。

・PNG の社会的背景とナザレン教会の関係性

都会と農村部では生活に著しく違いがあり単純比較は難しいが、農村部の平均月収は一万円以下と思われる。農村部にあるナザレン教会病院が高度な手術でも治療費は現地通貨：30 キナ(1200 円)に設定しているのに対して、多発する家庭内暴力を防止する観点から家庭内暴力を奮った人物への治療は罰として 50 キナ(約 2000 円)を請求している事から DV が社会的な問題である事が分かる。(ちなみに PNG には日本のような公的な保険、年金制度はない。ナザレン病院の医療従事者は世界のナザレン教会の支援により給与が支払われる) また、物価が日本よりも高い。例えばコーラ1本：240円もする。月収が1万円以下の中でのこれほどの物価高。その為、農村部は自給自足の生活を自ずと求められるようだ。元々農村部ではそれぞれの部族や風習によって外部との接種を極力さけてきた歴史があり、特に女性を取り巻く社会的問題(13～14歳での出産・性病・HIV、女性の権利等)が大きい。ヘルスケア等の全体像を国や自治体が把握する事はこれらの事情から難しく、その役目を教会が担っている実態が垣間見える。

ナザレン教会は日本でいう社会福祉士、民生委員、保護司、カウンセラーなどの社会的な役割を果たし、PNG の牧師はその為のスキルとトレーニングを数年受けて就任する。また、赴任先は任命制の為、希望の場所に赴任できるとは限らない。その為、各 PNG 牧師たちにヒアリングしてわかったのは、PNG にて牧師になるにあたっては、相当の覚悟と使命感がなければその職を全うできないという事実があった。ただ現地では牧師への財政的な支援や生活・精神面のケアも大変重要視されており、牧師就任のセレモニーに参加したが、地元民にも相当の信頼と期待を持って迎えている事が分かった。その意味で同じ牧師として PNG 牧師達には敬意と賞賛を送りたい。(PNG 訪問報告書より)



日本ナザレンが 2012 年～2 年間支援しその後、連絡が途絶えたジョセフ・コラ師と無事再会。昨年、事故で左足を失い農業を離れ現在事務として従事。もう一度有機農業の後継者育成を願っておられる心境をお聞きしました。

●コンパッション・デイ開催!

NPO 法人 NCM ジャパン京都事務所では、23年10月より『京都生協』様より、生活用品を無料提供いただき、花園キリスト教会の集会所をお借りして毎月1度(毎月第一日曜日)、物資を必要としている方を中心に無料配布を行っています。



コンパッションデイは

【思いやりの日】です。

物資提供条件である
ありがとうを言えない方
には**物資を提供できません**。
ご了承ください。

物資提供・物資搬出・物資搬入・仕分け・保管の経費・コストは全て善意の寄付により支えられている事をご理解下さい。

ただ、物資を配布するだけでなく「感謝」を共感しあう事を進めていくのが「コンパッション・デイ」です。

賛助会員を募集しています!

NCM ジャパンの活動:

災害支援・子ども支援・国際支援を行っています。

それらの活動の下支えは、賛助会員の会員費・寄付等で支えられています。

どうぞ NCM 活動にご協力・ご支援の程、宜しく願いいたします。

	入会金 (入会時のみ)	年会費 (毎年口数変更可)
個人	2000 円	6,000 円/口
団体・法人	2000 円	30,000 円/口

お申込み方法

① いずれかに【氏名・住所・口数】をお送り下さい
NCM ジャパン事務局

・メール ncmjapan.ncm@gmail.com

②口座にお振込下さい。

●ゆうちょ銀行

口座番号が新しくなりました

【口座番号】00190-8-421766

【名義】トクヒ)エヌシーエムジャパン

●他の金融機関

【店名】019(ゼロイチク)

【店番】019

【預金種目】当座預金

【口座番号】0421766(※末尾の1は不要)

発行者:特定非営利活動法人 NCM ジャパン

東京都認証(設立認証:2015年6月4日)

代表理事:篠澤俊一郎

東京事務所 東京都中野区弥生町 2-39-11

京都事務所 京都市右京区太秦安井辻ノ内町 10 番地 1 号

メール:ncmjapan.ncm@gmail.com

HP:<https://www.ncmjapan.org/> SNS:Twitter @ncmjapan